

薬剤師・薬局の上手な活用法

Vol. 1 感染症対策もご相談ください

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から3年がたちました。消毒用アルコールやマスクが手に入らない時期があったり、外出や移動が制限されたり、通常の医療が受けにくくなるなど、私たちの生活は大きな影響を受けました。

この間、薬剤師は通常の方々が医療体制を維持するとともに、感染拡大や重症化の防

止に繋がりました。初期に接種したワクチンはすでに感染を防ぐ力を失っているといわれています。9月にはXBB.1株に対応したワクチンが導入され、接種は続けられます。しっかりと情報を得て適切に対応していきたいと思えます。

抗原検査キットは、第1類医薬品として薬局で薬剤師から情報提供を受け、入手できるようになりました。検査キットや解熱鎮痛薬を家庭に常備しておき、体調に異変を感じたら適切なタイミングで使用できるようにしておきましょう。

特に基礎疾患をお持ちの方は、感染予防とともに普段の治療を継続することが大切です。次に感染拡大があっても服薬が継続できるように、お住まいの近くに相談しやすいかかりつけの薬局を決めておきましょう。

新型コロナウイルスの感染症法上の区分は5類となりましたが、これまで同様、感染対策を適切に行う必要があります。ことは変わりありません。

感染対策についてご不明なことがあれば、街の薬局でご相談ください。私たち薬剤師は、地域の健康を守るために、お役に立ちたいと考えています。



こちらも
チェック

新型コロナウイルス検査キット 取扱い薬局・薬店情報

公益社団法人 日本薬剤師会

